

2024 年第 3 四半期決算

プレスリリース

パリ、2024 年 10 月 31 日

2024 年第 3 四半期の業績は堅調

グループ当期純利益は 14 億ユーロ

収益は 68 億ユーロと、2023 年第 3 四半期比 10.5%増加¹。特に、年末時点の予測に沿って、フランス国内の純受取利息が力強い回復を示したほか、エクイティ事業およびトランザクションバンキング事業を中心にグローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門が再び好調な業績を上げたことが収益を牽引

正のジョーズ効果は、営業費用の管理により、2023 年第 3 四半期比 0.8%低下と好調

2024 年第 3 四半期の経費率は 63.3%と、2023 年第 3 四半期比 7.1 ポイント改善

2024 年第 3 四半期のリスク費用は 27 ベーシスポイントと横ばい

収益率（ROTE）は 2023 年第 3 四半期の 3.8%に対して 9.6%

2024 年 1～9 月期の当期純利益は 2023 年 1～9 月期比 53%増の 32 億ユーロ

営業業績の改善が牽引

収益は 2023 年 1～9 月期比 5.3%増の 202 億ユーロ

営業費用は 2023 年 1～9 月期比 0.1%増と横ばい

経費率は 68.8%と、2023 年 1～9 月期比 3.6 パーセントポイント改善

収益率（ROTE）は 2023 年 1～9 月期の 5.0%に対して 7.1%

堅固な自己資本および流動性比率

2024 年第 3 四半期末時点の普通株式等 Tier1 比率は 13.2%²と、規制要件を約 300 ベーシスポイント上回る

2024 年第 3 四半期末時点の流動性カバレッジ比率は 152%

2024 年 9 月末時点の配当準備金は 1 株当たり 1.66 ユーロ³

戦略計画の決然とした実行

本書中においてアスタリスク*は、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除いた数値を示す。

¹ コーポレートセンターで計上した特別収入（最大 3 億ユーロ）を除くと 5.8%の増加

² IFRS 第 9 号の段階的導入による影響を含み、2024 年第 3 四半期実績を含む試算見積もり

³ 非現金項目から修正再表示され、超劣後債および永久劣後債に係る利息控除後の、当グループ当期純利益の 50%の配当性向（規制による 40%～50%の配当性向の上限）に基づく。

キャピタル・マーケット・デーで示した軌道に対して前倒しで進む自己資本の増強

効率性と収益性の持続的な改善

事業ポートフォリオの再構築は順調に進展

当グループの最高経営責任者であるスラヴォミール・クルパは次のように述べています。

「当グループの四半期決算は堅調な結果となり、力強い改善を続けています。当グループが戦略計画を実行しており、それが具体的な形で決算に好影響を与えていることを四半期決算は実証しています。フランス国内の純受取利息の力強い回復とグローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門のさらなる目覚ましい寄与によって業況が堅調に推移したことで、収益は増加しました。営業費用は安定しており、リスク費用は抑制されています。経費率と収益率は明白な改善を示し、自己資本比率は上昇し続けています。

この1年間、当グループは徹底的に取組みを進めてまいりました。各チームの力を結集し、自己資本の増強、収益性の改善、事業ポートフォリオの再構築という3つの根本的な領域で成果を上げました。ブルソバンクの展開や Ayvens におけるリースプランの統合、またエネルギー移行への当グループの貢献の加速等、様々な戦略的イニシアチブを継続的に実行しています。長期的な価値の創出につながる持続可能な業績を上げるという当グループの目標は変わりません。」

1. グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2024年	2023年	増減		2024年	2023年	増減	
	第3四半期	第3四半期			1-9月期	1-9月期		
業務粗利益	6,837	6,189	+10.5%	+11.8%*	20,167	19,147	+5.3%	+6.5%*
営業費用	(4,327)	(4,360)	-0.8%	-0.3%*	(13,877)	(13,858)	+0.1%	+0.5%*
営業総利益	2,511	1,829	+37.3%	+41.0%*	6,290	5,289	+18.9%	+22.4%*
純リスク費用	(406)	(316)	+28.4%	+30.5%*	(1,192)	(664)	+79.6%	+81.0%*
営業利益	2,105	1,513	+39.1%	+43.2%*	5,098	4,625	+10.2%	+13.9%*
その他の資産からの純損益	21	6	x 3.5	x 3.4*	(67)	(92)	+27.5%	+27.3%*
法人所得税	(535)	(624)	-14.3%	-12.7%*	(1,188)	(1,377)	-13.7%	-11.3%*
当期純利益	1,591	563	x 2.8	x 3.0*	3,856	2,836	+35.9%	+41.3%*
うち非支配持分損益	224	268	-16.5%	-16.1%*	696	774	-10.1%	-11.2%*
グループ報告当期純利益	1,367	295	x 4.6	x 5.1*	3,160	2,062	+53.2%	+62.2%*
ROE	8.4%	0.9%			6.2%	3.6%		
ROTE	9.6%	3.8%			7.1%	5.0%		
経費率	63.3%	70.4%			68.8%	72.4%		

2024年10月30日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2024年第3四半期決算および2024年1～9月期決算が精査された。

業務粗利益

業務粗利益は2023年第3四半期比で10.5%増加し、68億ユーロとなった。

フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門の2024年第3四半期の収益は、2023年第3四半期比18.7%増の23億ユーロとなった。ローン環境は依然として低迷しており、有利子預金の拡大を追求している状況の中で、純受取利息は、直近予測に沿って、2024年第3四半期も回復が続いた（PEL/CEL引当金の影響を除き、2023年第3四半期比43%増）。プライベートバンキング事業および保険事業では、運用資産が2024年第3四半期に拡大し続け、2023年第3四半期比でそれぞれ8%および10%の増加を記録した。最後に、ブルソバンクでは、統制の取れた顧客獲得が持続し、当四半期に再び30万を超える新規顧客を獲得した結果、2024年9月末時点の顧客数は680万近くに達した。同様に、管理資産は2023年第3四半期比で14%超増加した。2024年第2四半期と同様、ブルソバンクは、2024年第3四半期のグループ当期純利益に対し、プラスに寄与した。

グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門の収益は、2023年第3四半期比で4.9%増加した。2024年第3四半期の収益が2023年第3四半期比でそれぞれ7.6%増および9.0%増となったグローバルマーケット事業およびグローバルトランザクション・ペイメントサービス事業の好調な動向に引き続き牽引され、当四半期の収益は総額24億ユーロとなった。グローバルマーケット事業では、エクイティ事業の収益が10.1%増加した。これは第3四半期としては過去2番目に良好な結果である。債券・為替事業の業況も好調で、金利低下を背景に収益は6.1%増加した。ファイナンス・アドバイザー事業の収益は2023年第3四半期比横ばいの8億4,300万ユーロとなった。証券化事業の商業的モメンタムが引き続き非常に堅調であったほか、高水準となった2023年第3四半期と比較すると鈍化したとはいえ、資金調達活動の好調が続いた。同様に、グローバルトランザクション・ペイメントサービス事業の収益は、良好な市場環境とキャッシュマネジメントおよびコルレス銀行業務の商業的発展の持続に牽引され、2023年第3四半期比で9.0%増加した。

モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門の収益は、主にAyvensにおけるベース効果を受け、2023年第3四半期比で5.4%減少した。国際リテールバンキング事業の収益は、全地域の良好なモメンタムに牽引され、2023年第3四半期比1.4%増の11億ユーロとなった。モビリティ事業および金融サービス事業の収益は、Ayvensの一時的な不利なベース効果により、2023年第3四半期比11.4%減となった。

コーポレートセンターの2024年第3四半期の収益は5,400万ユーロとなった。これは約3億ユーロの特別収入の計上を含む¹。

2024年1～9月期の業務粗利益は2023年1～9月期比5.3%増となった。

営業費用

2024年第3四半期の営業費用は、2023年第3四半期比0.8%減の43億2,700万ユーロとなった。

2024年第3四半期の経費率は63.3%と、2023年第3四半期(70.4%)および2024年第2四半期(68.4%)と比べて大幅に低下した。

2024年1～9月期の営業費用は横ばい(2023年1～9月期比で0.1%増)となり、経費率は(2023年1～9月期の72.4%に対して)68.8%と、2024年度目標の71%を下回った。

リスク費用

当四半期のリスク費用は横ばいの27ベースポイント(4億600万ユーロ)に抑制された。その内訳は、回収懸念貸出金の引当金4億ユーロ(約27ベースポイント)、および正常債権引当金600万ユーロであった。

2024年9月末時点の当グループの正常債権引当金は31億2,200万ユーロと、2024年6月30日時点と比べて5,600万ユーロの微減となった。これは主に、売却過程にある事業に対してIFRS第5号の会計基準を適用したことによるものである。2023年12月31日時点と比べて4億5,000万ユーロの減少となったのは、主に売却過程にある事業に対してIFRS第5号の会計基準を適用したことによるものである。

2024年9月30日時点の総不良債権比率は2.95%^{2,3}と、2024年6月末時点(3.03%)と比べて低下した。当グループの不良債権総額の純カバレッジ比率(保証および担保を考慮後のもの)は2024年9月30日時点で84%⁴であった。

その他の資産からの純損益

当グループは、2024年第3四半期に、チェコ共和国のKB本社の売却のほか、主に現在進めている資産売却に伴う会計処理の影響により、2,100万ユーロの純利益を計上した。

グループ当期純利益

2024年第3四半期のグループ当期純利益は13億6,700万ユーロ、有形自己資本利益率(ROTE)は9.6%であった。

2024年1～9月期のグループ当期純利益は31億6,000万ユーロ、有形自己資本利益率(ROTE)は7.1%であった。

¹ 2024年第2四半期決算プレスリリースに記載の通り。

² 比率は2019年7月16日に公表された欧州銀行監督機構(EBA)の手法に従い算出されている。

³ IFRS第5号に従って現在売却過程にある企業の貸出残高を除いた比率

⁴ S3引当金および保証・担保の不良債権残高の総額に対する比率

2. 完全に軌道に乗った戦略計画

当グループでは、2023年9月に戦略計画を発表して以来、その実行が大きく進展し、財務面を含め、効果が顕在化し始めている。とりわけ、自己資本の増強、効率と収益性の持続的な改善、事業ポートフォリオの再構築という3つの主要な領域において、基本的なマイルストーンに到達した。

事業ポートフォリオに関して、当グループはこの数ヶ月、積極的に取り組み、複数の非中核資産および相乗効果の得られない資産の売却を発表した。これら直近の売却は当グループの簡素化に寄与するだけでなく、自己資本比率の約60ベースポイントの強化につながり、うち約15ベースポイント分は年内に実現すると予想される。

同時に、ブルソバンクの展開、Ayvens におけるリースプランの統合、バーンスタインの設立、ブルックフィールドとのパートナーシップ、フランス国内における当グループのネットワークの合併、およびチェコ共和国における当グループのネットワークのデジタル化が示すように、当グループは中核フランチャイズへの投資を進めて将来に備えつつある。

とりわけ、当グループのポートフォリオのアライメントの面において、ESG ロードマップの実行も順調に進展しつつある。当グループはすでに2024年第2四半期に石油・ガス上流部門へのエクスポージャーを2019年と比べて50%超削減した¹。

当グループは2022年から2025年までのサステナブルファイナンス目標である3,000億ユーロを前四半期に達成した。ソシエテ・ジェネラルは10月31日、2024年から2030年までに実行する新たなサステナブルファイナンス目標を5,000億ユーロと発表した。内訳は以下の通りである。

- 4,000億ユーロの資金調達と1,000億ユーロのサステナブルボンド²
- 4,000億ユーロの環境活動と1,000億ユーロの社会活動

資金調達の大部分はクリーン・エネルギー、サステナブル不動産、低炭素モビリティ、ならびにその他の産業および環境移行に関連する分野の取引に充てられる。

¹ 目標：上流部門へのエクスポージャーを2030年までに2019年比で80%削減し、中間措置として、2025年に2019年比で50%削減する。

² ソシエテ・ジェネラルの参加のみを考慮している。

3. グループ財務構造

2024年9月30日時点の当グループの普通株式等 Tier1 比率は 13.2%¹で、規制要件を約 300 ベースポイント上回った。同様に、2024年9月末時点の流動性カバレッジ比率（LCR）は 152%（当四半期の平均では 156%）となり、規制要件を大幅に上回った。また、2024年9月末時点の安定調達比率（NSFR）は 116%であった。

すべての流動性比率および自己資本比率は規制要件を大幅に上回っている。

	2024年9月30日	2023年12月31日	規制要件
CET1⁽¹⁾	13.2%	13.1%	10.22%
CET1（全面適用）	13.2%	13.1%	10.22%
Tier 1 比率⁽¹⁾	15.5%	15.6%	12.15%
総自己資本 ⁽¹⁾	18.2%	18.2%	14.71%
レバレッジ比率 ⁽¹⁾	4.25%	4.25%	3.60%
TLAC（RWA 比）⁽¹⁾	27.8%	31.9%	22.29%
TLAC（レバレッジ比） ⁽¹⁾	7.6%	8.7%	6.75%
MREL（RWA 比）⁽¹⁾	32.2%	33.7%	27.56%
MREL（レバレッジ比） ⁽¹⁾	8.8%	9.2%	6.23%
期末 LCR	152%	160%	>100%
期中平均 LCR	156%	155%	>100%
NSFR	116%	119%	>100%

（単位：十億ユーロ）	2024年9月30日	2023年12月31日
連結貸借対照表総額	1,580	1,554
グループ株主資本	67	66
リスクアセット	392	389
うち信用リスク	331	326
調達貸借対照表総額	948	970
顧客貸出金	453	497
顧客預金	608	618

2024年10月11日現在、親会社は総額 380 億ユーロの中長期債を発行しており、うち 175 億ユーロがバニラ債であった。2024年の長期バニラ債による資金調達プログラムは完了している。子会社は 46 億ユーロの中長期債を発行している。当グループ全体では、総額 426 億ユーロの中長期債を発行している。

当グループは 4 社の格付け機関から格付けを付与されている。各社からの格付けは、（i）フィッチ・レーティングスからは長期格付け「A-」（安定的）、上位優先債格付け「A」および短期格付け「F1」、（ii）ムーディーズからは長期格付け（上位優先債）「A1」（ネガティブ）および短期格付け「P-1」、（iii）R&I からは長期格付け（上位優先債）「A」（安定的）、（iv）S&P グローバル・レーティングからは長期格付け（上位優先債）「A」（安定的）および短期格付け「A-1」となっている。

¹ IFRS 第 9 号の段階的適用による影響を含み、2024年第 3 四半期実績を含む試算見積もり

4. フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門

(単位：百万ユーロ)	2024年	2023年	増減	2024年	2023年	増減
	第3四半期	第3四半期		1-9月期	1-9月期	
業務粗利益	2,254	1,900	+18.7%	6,390	6,090	+4.9%
PEL/CEL 引当金の影響を除いた業務粗利益	2,259	1,895	+19.2%	6,392	6,090	+5.0%
営業費用	(1,585)	(1,608)	-1.4%	(4,962)	(5,073)	-2.2%
営業総利益	669	292	x 2.3	1,428	1,017	+40.5%
純リスク費用	(178)	(144)	+23.4%	(597)	(342)	+74.7%
営業利益	491	148	x 3.3	831	675	+23.1%
その他の資産からの純損益	(1)	0	n/s	7	4	x 2.1
グループ報告当期純利益	368	109	x 3.4	631	506	+24.8%
RONE	9.4%	2.8%		5.4%	4.4%	
経費率	70.3%	84.7%		77.7%	83.3%	

商業活動

SG ネットワーク、プライベートバンキング、保険

SG ネットワークの平均預金残高は 2024 年第 3 四半期に 2,360 億ユーロとなり、有利子預金および金融貯蓄の継続的な増加を背景に前四半期比で 0.6%増加した（2023 年第 3 四半期比 1%減）。

SG ネットワークの平均貸出残高は、2023 年第 3 四半期比 5%減の 1,950 億ユーロであった。法人顧客および専門家顧客向けの貸出残高（政府保証融資（PGE）を除く。）は 2023 年第 3 四半期比で横ばいとなり、中・長期ローンのシェアは 2024 年第 2 四半期比で拡大した。住宅ローンの契約数は引き続き回復した（2023 年第 3 四半期比 2.4 倍、2024 年第 2 四半期比 15%増）。

2024 年第 3 四半期の平均預貸率は 82.5%と、2023 年第 3 四半期比で 3.3 パーセントポイント低下した。

プライベートバンキング事業では、2024 年第 3 四半期の運用資産（AuM）¹が過去最高の 1,540 億ユーロを記録し、2023 年第 3 四半期比で 8%増加した。2024 年 1~9 月期の純資産のインフローは 59 億ユーロとなり、純資産拡大ペース（正味新規資金を AuM で除したもの）は年初から 5.5%増加した。2024 年第 3 四半期の業務粗利益は 2023 年第 3 四半期比横ばいの 3 億 6,800 万ユーロであった。2024 年 1~9 月期の業務粗利益は 2023 年 1~9 月期比 1%増の 11 億 2,100 万ユーロとなった。

フランス国内外の業務を含む**保険事業**は極めて好調な実績を上げた。生命保険事業の残高は 2023 年第 3 四半期比 10%増の大幅増となり、2024 年 9 月末現在で過去最高の 1,450 億ユーロに達した。ユニットリンク商品のシェアは 40%と高水準を維持した。2024 年第 3 四半期の生命保険貯蓄のインフロー総額は、2023 年第 3 四半期比 35%増の 36 億ユーロとなった。

個人保護保険および損害保険のリスク・プレミアムは、2023 年第 3 四半期比で 5%増加した。

ブルソバンク

ブルソバンクは 2024 年 9 月末現在の顧客数がほぼ 680 万となっており、2023 年第 3 四半期比で 27%増加した（前年同期比で約 140 万の顧客増）。新規顧客獲得ペース（2024 年第 3 四半期に約 31 万の新規顧客）は、2024 年末までに 700 万顧客という目標に完全に沿ったものである。ブルソバンクはアクティブでロイヤリティが高くかつ質の高い顧客基盤を構築できている。売買仲介業務の取扱高は 200 万件と、2023 年第

¹ スイスおよび英国を含むフランス国内外の運用資産

3 四半期比で 18%増加した。最後に、モデルの効率性と極めて高い顧客満足度の証左となる解約率は約 3%の低い水準を維持しており、市場の水準を下回っている。

2024 年第 3 四半期の平均貸出残高は 150 億ユーロと、2023 年第 3 四半期比で 4.2%増加した。

預金および金融貯蓄を含む平均貯蓄残高は、2023 年第 3 四半期比 13.8%増の 630 億ユーロであった。2024 年第 3 四半期の預金残高は総額 380 億ユーロとなり、2023 年第 3 四半期比 16.2%の大幅増を記録した。2024 年第 3 四半期の生命保険の残高は 120 億ユーロと、2023 年第 3 四半期比で 7.3%増加した（うちユニットリンク商品のシェアは 47%で、2023 年第 3 四半期比で 3.3 パーセントポイント上昇）。当事業は、当四半期において引き続き好調なインフロー総額を記録した（2023 年第 3 四半期比 55%増、ユニットリンク商品のシェアは約 53%）。

ブルソバンクは 2024 年第 3 四半期に、2 四半期連続でグループ当期純利益にプラスの寄与をもたらした。

業務粗利益

2024 年第 3 四半期の収益は 22 億 5,400 万ユーロで、2023 年第 3 四半期比 19%増、2024 年第 2 四半期比 6%増となった。純受取利息は、2023 年第 3 四半期比で 43%増加し（PEL/CEL 引当金の影響を除く。）、2024 年第 2 四半期比では 19%増加した（1 億 6,900 万ユーロ）。手数料収入は 2023 年第 3 四半期比で 5.0%増加した。

2024 年 1~9 月期の収益は 63 億 9,000 万ユーロと、2023 年 1~9 月期比で 4.9%増加した。PEL/CEL 引当金の影響を除いた純受取利息は、2023 年 1~9 月期比で 15.9%増加した。手数料収入は 2023 年 1~9 月期比で 1.7%増加した。

営業費用

2024 年第 3 四半期の営業費用は 15 億 8,500 万ユーロとなり、2023 年第 3 四半期比で 1.4%減少した。2024 年第 3 四半期の営業費用には 1,200 万ユーロの改革費用が含まれている。2024 年第 3 四半期の経費率は 70.3%と、2023 年第 3 四半期から 14 パーセントポイント超改善した。

2024 年 1~9 月期の営業費用は 49 億 6,200 万ユーロとなった（2023 年 1~9 月期比 2.2%減）。経費率は 77.7%で、2023 年 1~9 月期から 5.7 パーセントポイント改善した。

リスク費用

2024 年第 3 四半期のリスク費用は 1 億 7,800 万ユーロ、すなわち 30 ベーシスポイントとなり、2024 年第 2 四半期（29 ベーシスポイント）からは横ばいであった。

2024 年 1~9 月期のリスク費用は総額 5 億 9,700 万ユーロ、すなわち 34 ベーシスポイントであった。

グループ当期純利益

2024 年第 3 四半期のグループ当期純利益は総額 3 億 6,800 万ユーロであった。2024 年第 3 四半期の RONE は 9.4%となった。

2024 年 1~9 月期のグループ当期純利益は総額 6 億 3,100 万ユーロであった。2024 年 1~9 月期の RONE は 5.4%となった。

5. グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門

(単位：百万ユーロ)	2024年		2023年		2024年		2023年	
	第3四半	第3四半期	増減		1-9月期	1-9月期	増減	
業務粗利益	2,422	2,309	+4.9%	+5.2%*	7,666	7,457	+2.8%	+2.8%*
営業費用	(1,494)	(1,478)	+1.1%	+1.3%*	(4,898)	(5,187)	-5.6%	-5.5%*
営業総利益	928	831	+11.6%	+12.0%*	2,768	2,270	+21.9%	+21.8%*
純リスク費用	(27)	(14)	+95.3%	x 2.0*	(29)	8	n/s	n/s
営業利益	901	817	+10.2%	+10.5%*	2,739	2,278	+20.2%	+20.0%*
グループ報告当期純利益	699	645	+8.2%	+8.5%*	2,160	1,814	+19.1%	+18.8%*
RONE	18.0%	16.8%			19.0%	15.6%		
経費率	61.7%	64.0%			63.9%	69.6%		

業務粗利益

グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門は引き続き非常に力強い業績を達成し、収益は2023年第3四半期比4.9%増の24億2,200万ユーロを計上した。

2024年1~9月期の収益は、2023年1~9月期比2.8%増（74億5,700万ユーロに対し76億6,600万ユーロ）となった。

2024年第3四半期のグローバルマーケット・インベスターサービス事業の収益は2023年第3四半期比で7.6%増加し、15億7,900万ユーロとなった。2024年1~9月期の収益は総額50億6,300万ユーロとなり、2023年1~9月期比で3.1%の増加となった。この伸びを牽引したのは主にグローバルマーケット事業であり、特にエクイティ事業に有利に働いた市場環境が奏功し、2024年第3四半期は2023年第3四半期比8.6%増の14億1,000万ユーロの収益を計上した。2024年1~9月期の収益は、2023年1~9月期比4.5%増の総額45億5,300万ユーロであった。

エクイティ事業は再び底堅い業績を達成し、2024年第3四半期の収益は2023年第3四半期を大幅に上回る10.1%増の8億8,000万ユーロとなった。特に、良好な市場環境の中で非常に好調なデリバティブの業績が当事業にとって追い風となった。この四半期は史上2番目に好調な第3四半期となった。2024年1~9月期の収益は2023年1~9月期比12.9%増と大幅に増加し、27億3,900万ユーロとなった。

債券・為替事業の2024年第3四半期の収益は、6.1%増の5億3,000万ユーロとなった。金利と外国為替のフロー業務に対する、特に米国の顧客からの旺盛な需要が追い風となった。2024年1~9月期の収益は6.0%減の18億1,400万ユーロとなった。

証券サービス事業の収益は2023年第3四半期比0.6%増の1億6,900万ユーロとなったが、資本参加の影響を除くと9.9%増であった。受取手数料の増収傾向ならびにプライベート・マーケットおよびファンド販売事業における力強いモメンタムが引き続き当事業の追い風となった。2024年1~9月期の収益は8.2%減となったが、資本参加の影響を除くと2.1%増であった。カストディ資産および管理資産はそれぞれ4兆9,750億ユーロおよび6,140億ユーロであった。

ファイナンス・アドバイザー事業の収益は2023年第3四半期比ほぼ横ばいの8億4,300万ユーロとなった。2024年1~9月期の収益は2023年1~9月期比2.3%増の総額26億200万ユーロとなった。

グローバルバンキング・アドバイザー事業の収益は2023年第3四半期比3.2%減となった。証券化商品は再び底堅い業績を達成し、販売業務のモメンタムも堅調であった。ファイナンス業務は基準となる水準が高かった2023年第3四半期比では減少となったものの、堅実な業績を計上した。インベストメントバン

キング業務も底堅い業績を計上した。2024年1～9月期の収益は2023年1～9月期をわずかに下回る0.3%の減少となった。

グローバルトランザクション・ペイメントサービス事業は、特にキャッシュマネジメントとコルレス銀行の業務における力強いモメンタムに牽引されて再び堅調な業績を達成し、2023年第3四半期比9.0%増となる収益を計上した。2024年1～9月期の収益は10.1%増となった。

営業費用

2024年第3四半期の営業費用は14億9,400万ユーロとなり、これには2,100万ユーロの改革費用も含まれていた。営業費用は2023年第3四半期比1.1%増となり、2024年第3四半期の経費率は61.7%であった。

2024年1～9月期の営業費用は2023年1～9月期比5.6%減となり、経費率は63.9%であった。

リスク費用

2024年第3四半期のリスク費用は低水準の2,700万ユーロすなわち7ベースポイント（2023年第3四半期は3ベースポイント）であった。

2024年1～9月期のリスク費用は2,900万ユーロすなわち2ベースポイントであった。

グループ当期純利益

グループ当期純利益は2023年第3半期比8.2%増の6億9,900万ユーロに上った。2024年1～9月期のグループ当期純利益は19.1%増の21億6,000万ユーロと大幅に拡大した。

グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門は、2024年第3四半期は18.0%という高水準のRONE、2024年1～9月期は19.0%のRONEをそれぞれ計上した。

6. モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門

(単位：百万ユーロ)	2024年	2023年	増減		2024年	2023年	増減	
	第3四半	第3四半期			1-9月期	1-9月期		
業務粗利益	2,108	2,228	-5.4%	-2.8%*	6,403	6,491	-1.4%	+1.8%*
営業費用	(1,221)	(1,239)	-1.4%	+0.3%*	(3,832)	(3,479)	+10.2%	+12.7%*
営業総利益	887	989	-10.4%	-6.6%*	2,570	3,013	-14.7%	-10.9%*
純リスク費用	(201)	(175)	+14.9%	+18.1%*	(572)	(349)	+63.7%	+65.9%*
営業利益	685	814	-15.8%	-12.0%*	1,998	2,663	-25.0%	-21.2%*
その他の資産からの純損益	94	1	x 77.0	x 76.7*	98	0	x 375.7	x 304.1
非支配持分損益	223	237	-6.1%	-3.6%*	623	674	-7.6%	-7.8%*
グループ報告当期純利益	367	377	-2.4%	+3.1%*	956	1,325	-27.8%	-22.1%*
RONE	14.1%	14.9%			12.2%	18.6%		
経費率	57.9%	55.6%			59.9%	53.6%		

商業活動

国際リテールバンキング事業

国際リテールバンキング事業¹は、2024年第3四半期に堅調な商業的モメンタムを達成し、貸出残高は2023年第3四半期比で4.2%増加*（1.8%増、2024年第3四半期の残高は680億ユーロ）、預金残高は2023年第3四半期比で4.1%増加*（1.2%増、2024年第3四半期の残高は830億ユーロ）した。

欧州の事業は、両事業体の顧客セグメントを通じて堅調であった。貸出残高の総額は、低金利環境における住宅ローンおよび中長期の法人向けローンに牽引され、2023年第3四半期比で6.0%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと3.1%増、2024年第3四半期の残高は430億ユーロ）。預金残高は、利付商品を中心に2023年第3四半期比で4.6%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと1.9%増、2024年第3四半期の残高は550億ユーロ）。

アフリカ、地中海沿岸地域およびフランス海外領域では、サハラ以南アフリカにおいて2023年第3四半期比で5.6%増加*（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと2023年第3四半期比で横ばい）したことを背景に、2024年第3四半期の貸出残高は総額250億ユーロとなった（2023年第3四半期比1.2%増*、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと横ばい）。2024年第3四半期の預金残高は総額270億ユーロであった。預金残高はアフリカのすべての顧客セグメントで増加し、2023年第3四半期比で3.0%の増加*となった（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと横ばい）。

モビリティ・金融サービス事業

全体としてモビリティ・金融サービス事業は良好な営業実績を上げた。

Ayvensの収益資産は2024年9月末現在総額531億ユーロとなり、2023年9月末時点から約5.8%増加した。

消費者金融事業は、2024年第3四半期の貸出残高が230億ユーロとなり、依然不透明な環境の中、2023年第3四半期比で4.5%の減少となった。

設備ファイナンス事業の残高は2024年第3四半期に150億ユーロと、2023年第3四半期と同水準であった。

¹ IFRS第5号準拠の報告対象の事業体を含む。

業務粗利益

2024年第3四半期のモビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門の収益は総額21億800万ユーロと、2023年第3四半期比で2.8%減少*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと5.4%減）。

2024年1～9月期の収益は64億300万ユーロで、2023年1～9月期比1.8%増*と、わずかに増加した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと1.4%減）。

国際リテールバンキング事業は当四半期に堅調な実績を達成し、業務粗利益は10億5,800万ユーロと2023年第3四半期比で5.1%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと1.4%増）。2024年1～9月期の収益は総額31億3,100万ユーロで、2023年1～9月期比で4.0%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと横ばい）。

欧州は2024年第3四半期に5億600万ユーロの収益を記録し、両事業体とも収益増となった（2023年第3四半期比3.0%増*、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと横ばい）。

アフリカ、地中海沿岸地域およびフランス海外領域は引き続き堅調な商業的モメンタムを記録し、2024年第3四半期の収益は5億5,200万ユーロとなった。収益は、アフリカでの純受取利息の大幅増（2023年第3四半期比10.5%増*）に牽引され、2023年第3四半期比で7.2%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと2.8%増）。

モビリティ・金融サービス事業の2024年第3四半期の収益は、2023年第3四半期比11.4%減の10億4,900万ユーロとなった。2024年1～9月期の収益は2.9%減の32億7,100万ユーロであった。

Ayvensの2024年第3四半期の業務粗利益は7億3,200万ユーロとなり、2023年第3四半期比14.8%減、非経常項目の修正再表示後では4.0%減であった¹。基礎的マージンの金額は、2023年第3四半期比横ばいの約6億9,000万ユーロであった¹。1台当たりの平均中古車販売実績は引き続き正常化した¹が、2024年第2四半期の1台当たり1,480ユーロ¹に対して2024年第3四半期は1,420ユーロ¹と高水準が続いた。

消費者金融事業は、2023年第3四半期比3.5%減となったものの、2024年第3四半期の業務粗利益は2億1,800万ユーロと、2024年第2四半期以降安定化している。設備ファイナンス事業の収益も2023年第3四半期比横ばいであった（2024年第3四半期は9,900万ユーロ）。

営業費用

2024年第3四半期の営業費用は12億2,100万ユーロと横ばいで（2023年第3四半期比0.3%増*、1.4%減）、これには2,900万ユーロの改革費用が含まれていた。2024年第3四半期の経費率は57.9%であった。

2024年1～9月期の営業費用は総額38億3,200万ユーロと、2023年1～9月期比で12.7%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと10.2%増）。これには改革費用の約1億4,800万ユーロが含まれている。

国際リテールバンキング部門の営業費用は、大きな改革を進める中で2023年第3四半期比で3.4%増加*した（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含むと横ばい、2024年第3四半期は5億6,700万ユーロ）。特に、2024年1月に施行されたルーマニアの新たな銀行税の影響が大きかった。

¹ マージンまたは中古車販売実績のいずれかの非経常項目を除く（主に2023年第3四半期の1億1,400万ユーロに対して2024年第3四半期は0百万ユーロの車両再評価、2023年第3四半期比で最大3,500万ユーロ減の想定減価償却費および取得原価の配分に係る正味影響、2023年第3四半期の4,600万ユーロに対して2024年第3四半期は1,000万ユーロのトルコのハイパーインフレ、および2023年第3四半期の8,200万ユーロ減に対して2024年第3四半期は5,500万ユーロ減のデリバティブ時価評価に関連したもの）。

モビリティ・金融サービス事業の営業費用は2023年第3四半期比で減少した（2023年第3四半期比2.4%減、2024年第3四半期は6億5,400万ユーロ）。

リスク費用

2024年第3四半期のリスク費用は48ベースポイント（2億100万ユーロ）に正常化した。

2024年1～9月期のリスク費用は、2023年1～9月期の32ベースポイントに対して45ベースポイントであった。

グループ当期純利益

2024年第3四半期のグループ当期純利益は3億6,700万ユーロと、2023年第3四半期比で2.4%減少した。2024年第3四半期のRONEは14.1%であった。2024年第3四半期のRONEは、国際リテールバンキング事業では21.4%（KB本社オフィスの売却関連の約4,000万ユーロがグループ当期純利益にプラスに寄与）、モビリティ・金融サービス事業では9.2%であった。

2024年1～9月期のグループ当期純利益は9億5,600万ユーロと、2023年1～9月期比で27.8%減少した。2024年1～9月期のRONEは12.2%であった。2024年1～9月期のRONEは、国際リテールバンキング事業が16.4%、モビリティ・金融サービス事業は9.5%となった。

7. コーポレートセンター

(単位：百万ユーロ)	2024 年	2023 年	増減		2024 年	2023 年	増減	
	第 3 四半期	第 3 四半期			1-9 月期	1-9 月期		
業務粗利益	54	(249)	n/s	n/s	(291)	(891)	+67.3%	+67.8%*
営業費用	(27)	(35)	-22.8%	-25.8%*	(185)	(119)	+55.2%	+48.2%*
営業総利益	27	(283)	n/s	n/s	(476)	(1,010)	+52.9%	+54.2%*
純リスク費用	1	17	+95.9%	+95.9%*	6	19	+70.6%	+70.6%*
その他の資産からの純損益	(73)	4	n/s	n/s	(172)	(96)	-78.9%	-79.1%*
法人所得税	(26)	(214)	-87.7%	-87.5%*	118	(85)	n/s	n/s
グループ報告当期純利益	(67)	(836)	+92.0%	+92.2%*	(587)	(1,582)	+62.9%	+63.7%*

コーポレートセンターには以下の項目が含まれる。

- 当グループ本社の不動産管理
- 当グループの株式ポートフォリオ
- 当グループの財務担当部署
- 部門横断的なプロジェクトに関連する特定の費用および事業部門にリインボイスされない当グループの特定の費用

業務粗利益

コーポレートセンターの業務粗利益は、2023 年第 3 四半期のマイナス 2 億 4,900 万ユーロに対し、**2024 年第 3 四半期は総額 5,400 万ユーロ**となった。これは約 3 億ユーロの特別収入の受取りの計上を含む¹。

営業費用

営業費用は、2023 年第 3 四半期の 3,500 万ユーロに対し、**2024 年第 3 四半期は総額 2,700 万ユーロ**となった。

その他の資産からの純損失

主に IFRS 第 5 号の適用に従い、当グループは 2024 年第 3 四半期に進行中の資産売却が及ぼす様々な影響を計上した。

グループ当期純利益

コーポレートセンターのグループ当期純利益は、2023 年第 3 四半期のマイナス 8 億 3,600 万ユーロに対し、**2024 年第 3 四半期は総額マイナス 6,700 万ユーロ**となった。

¹ 2024 年第 2 四半期決算プレスリリースに記載の通り。

8. 2024 年および 2025 年の財務情報開示日程

2024 年および 2025 年の財務情報開示日程

2025 年 2 月 6 日	2024 年第 4 四半期決算および 2024 年通期決算
2025 年 4 月 30 日	2025 年第 1 四半期決算
2025 年 5 月 20 日	2024 年合同年次株主総会

代替的業績指標、特に中核事業部門の業務粗利益、営業費用、ベースポイント表示のリスク費用、ROE、ROTE、RONE、純資産および有形純資産の概念は、健全性比率を公表する際の原則とともに財務情報の基準となる事項に記載されています。

本書にはソシエテ・ジェネラル・グループの目標および戦略に関連する将来の見通しに関する記述が含まれています。

これらの将来の見通しに関する記述は、一般事項および特別事項の両方、特に欧州連合により採択された IFRS（国際財務報告基準）に準拠した会計原則および方法の適用、ならびに既存の健全性規制の適用を含む一連の前提に基づいています。

また、これらの将来の見通しに関する記述は、所与の競争および規制環境下における複数の経済前提に基づくシナリオに則して作成されました。当グループは以下を行うことができない場合があります。

- 当グループの事業に影響をもたらす可能性のあるすべてのリスク、不確実性またはその他の要因を予測すること、およびそれらの潜在的な影響を評価すること。
- リスクまたは複合リスクの発生により、実際の業績が本書および関連資料に記載されている業績の見通しからの程度大きく乖離するかを判断すること。

したがって、ソシエテ・ジェネラルはこれらの記述は合理的な仮定に基づいていると考えているものの、かかる将来の見通しに関する記述は、当行もしくは当行の経営陣が認知していない事項または現状で重大とみなされていない事項を含む、数々のリスクおよび不確実性に左右され、予想していた事象が発生する保証、または設定していた目標が実際に達成される保証はありません。実際の業績を、将来の見通しに関する記述で予想されている業績とは大きく異なるものにしうる重要な要因には、とりわけ、一般的経済活動の全体的な傾向、およびより具体的にはソシエテ・ジェネラルの市場における全体的な傾向、規制や健全性に関する変更、ならびにソシエテ・ジェネラルの戦略、経営および財政に関するイニシアチブの成功が含まれます。

ソシエテ・ジェネラルの財務業績に影響を及ぼす可能性のある潜在的リスクについてのより詳細な情報は、フランス金融市場庁（*Autorité des Marchés Financiers*）に提出された「Universal Registration Document（年次報告書）」（<https://investors.societegenerale.com/en> にて閲覧可能）の「Risk Factors」のセクションをご覧ください。

投資家の皆さまにおかれましては、かかる将来の見通しに関する記述に含まれる情報をご参考にされる際には、当グループの事業活動に影響をもたらす可能性のある不確実性要因およびリスク要因を考慮されるようお勧めします。適用ある法律で義務付けられている場合を除き、ソシエテ・ジェネラルは、将来の見通しに関する情報または記述の内容を更新または改正するいかなる義務も負いません。特に明記しない限り、事業ランキングおよび市場ポジションは内部資料によるものです。

9. 付属書類 1：財務情報

主力事業部門のグループ当期純利益

(単位：百万ユーロ)	2024 年 第 3 四半期	2023 年 第 3 四半期	増減	2024 年 1-9 月期	2023 年 1-9 月期	増減
フランス国内リテールバンキング・ プライベートバンキング・保険部門	368	109	x 3.4	631	506	+24.8%
グローバルバンキング・ インベスターソリューションズ部門	699	645	+8.2%	2,160	1,814	+19.1%
モビリティ・国際リテールバンキング・ 金融サービス部門	367	377	-2.4%	956	1,325	-27.8%
主力事業部門	1,434	1,131	+26.7%	3,747	3,644	+2.8%
コーポレートセンター	(67)	(836)	+92.0%	(587)	(1,582)	+62.9%
当グループ	1,367	295	x 4.6	3,160	2,062	+53.2%

主な特別項目

(単位：百万ユーロ)	2024 年 第 3 四半期	2023 年 第 3 四半期	2024 年 1-9 月期	2023 年 1-9 月期
業務粗利益 - 特別項目合計	287	0	287	(240)
一時現存費用 - コーポレートセンター	0	0	0	(240)
特別収入の受取り - コーポレートセンター	287	0	287	0
営業費用 - 一時費用および改革費用合計	(62)	(145)	(538)	(662)
改革費用	(62)	(145)	(538)	(627)
うちフランス国内リテールバンキング・	(12)	(46)	(139)	(330)
プライベートバンキング・保険部門				
うちグローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	(21)	(41)	(204)	(102)
うちモビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	(29)	(58)	(148)	(195)
うちコーポレートセンター	0	0	(47)	0
一時費用	0	0	0	(35)
うちフランス国内リテールバンキング・	0	0	0	60
プライベートバンキング・保険部門				
うちグローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	0	0	0	(95)
その他一時費用 - 合計	13	(625)	13	(704)
その他の資産からの純損益	13	(17)	13	(96)
うちモビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	86	0	86	0
うちコーポレートセンター	(73)	(17)	(73)	(96)
のれんの減損 - コーポレートセンター	0	(338)	0	(338)
繰延税金資産準備金 - コーポレートセンター	0	(270)	0	(270)

連結貸借対照表

(単位：百万ユーロ)	2024年	2023年
	9月30日	12月31日
現金および中央銀行預け金	199,140	223,048
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	528,259	495,882
ヘッジ目的デリバティブ	8,265	10,585
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	93,795	90,894
償却原価で測定する有価証券	29,908	28,147
償却原価で測定する銀行預け金	87,153	77,879
償却原価で測定する顧客貸出金	446,576	485,449
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(330)	(433)
保険契約資産および再保険契約資産	438	459
税金資産	4,535	4,717
その他の資産	75,523	69,765
売却目的保有非流動資産	39,940	1,763
持分法適用投資	384	227
有形および無形固定資産	60,970	60,714
のれん	5,031	4,949
合計	1,579,587	1,554,045

(単位：百万ユーロ)	2024年	2023年
	9月30日	12月31日
中央銀行預り金	10,134	9,718
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	391,788	375,584
ヘッジ目的デリバティブ	14,621	18,708
発行債券	162,997	160,506
銀行預り金	105,320	117,847
顧客預金	526,100	541,677
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(5,074)	(5,857)
税金負債	2,516	2,402
その他の負債	93,909	93,658
売却目的保有非流動負債	29,802	1,703
保険契約関連負債	150,295	141,723
引当金	3,954	4,235
劣後債務	15,985	15,894
負債合計	1,502,347	1,477,798
株主資本	-	-
株主資本、グループ持分	-	-
発行済普通株式および資本準備金	21,166	21,186
その他の資本性金融商品	8,918	8,924
利益剰余金	34,074	32,891
純利益	3,160	2,493
小計	67,318	65,494
未実現・繰延キャピタルゲインおよびキャピタルロス	128	481
資本、グループ持分小計	67,446	65,975
非支配持分損益	9,794	10,272
株主資本合計	77,240	76,247
合計	1,579,587	1,554,045

10. 付属書類 2：財務情報の基準となる事項

1 - 2024 年第 3 四半期および 2024 年 1~9 月期に関する財務情報は、2024 年 10 月 30 日開催の取締役会において精査されており、当該日付において適用され、欧州連合が採択している国際財務報告基準（IFRS）に準拠した方法により作成されている。これらの財務情報は、監査を受けていない。

2 - 業務粗利益

中核事業部門の業務粗利益はソシエテ・ジェネラルの 2024 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 42 ページに定義されている。「収益」および「業務粗利益」は同義語として使用されている。これらは、各事業に対する標準的資本配分を考慮した上での、各中核事業部門の業務粗利益の正規化した数値を提供している。

3 - 営業費用

営業費用は、2023 年 12 月 31 日付の当グループの連結財務諸表の注 5 に記載されている「営業費用」を指す。また、営業費用について言及する際、「費用」という用語も使われている。経費率はソシエテ・ジェネラルの 2024 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 42 ページに定義されている。

4 - ベーシスポイント表示のリスク費用、回収懸念残高のカバレッジ比率

リスク費用はソシエテ・ジェネラルの 2024 年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の 43 ページおよび 770 ページに定義されている。当該指標により、各中核事業部門のリスク水準を、貸借対照表上のローンコミットメント（オペレーティングリースを含む。）のパーセンテージとして評価することが可能となる。

(単位：百万ユーロ)		2024 年	2023 年	2024 年	2023 年
		第 3 四半期	第 3 四半期	1-9 月期	1-9 月期
フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門	純リスク費用	178	144	597	342
	貸出残高総額	234,420	243,740	236,286	248,757
	ベーシスポイント表示のリスク費用	30	24	34	18
グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門	純リスク費用	27	14	29	(8)
	貸出残高総額	163,160	167,057	163,482	170,165
	ベーシスポイント表示のリスク費用	7	3	2	(1)
モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門	純リスク費用	201	175	572	349
	貸出残高総額	168,182	162,873	167,680	145,227
	ベーシスポイント表示のリスク費用	48	43	45	32
コーポレートセンター	純リスク費用	(1)	(17)	(6)	(19)
	貸出残高総額	25,121	22,681	24,356	19,364
	ベーシスポイント表示のリスク費用	(1)	(31)	(3)	(13)
ソシエテ・ジェネラル・グループ	純リスク費用	406	316	1,192	664
	貸出残高総額	590,882	596,350	591,804	583,512
	ベーシスポイント表示のリスク費用	27	21	27	15

回収懸念残高総額のカバレッジ比率は、規則上、デフォルトに陥っていると特定された残高総額に対する信用リスクに関して認識されている引当金の比率として算出されており、提供された保証は考慮されていない。当該カバレッジ比率により、デフォルトに陥っている（回収が懸念される）残高と関連している最大残存リスクを測定することができる。

5 - ROE、ROTE、RONE

ROE（自己資本利益率）およびROTE（有形自己資本利益率）の概念ならびにこれらの算出方法は、ソシエテ・ジェネラルの2024年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の43ページおよび44ページに記載されている。当該数値により、ソシエテ・ジェネラルの自己資本利益率および有形自己資本利益率を評価することが可能となる。

RONE（基準自己資本利益率）は、ソシエテ・ジェネラルの2024年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の44ページに記載されている原則に基づき、当グループの事業部門に配分される平均基準資本の利益率を特定する。

比率の分子として使用されるグループ当期純利益は、「超劣後債および永久劣後債の保有者への支払利息および未払利息、発行時額面超過額償却額」の調整後の会計上のグループ当期純利益である。ROTE に関しては、利益はのれんの減損を修正再表示している。

当期におけるROEおよびROTEを算出するために行った会計上の資本に対する修正は、下表に詳述されている。

ROTEの算出：算出方法

期末（単位：百万ユーロ）	2024年 第3四半期	2023年 第3四半期	2024年 1-9月期	2023年 1-9月期
株主資本、グループ持分	67,446	68,077	67,446	68,077
超劣後債および永久劣後債	(8,955)	(11,054)	(8,955)	(11,054)
超劣後債および永久劣後債の保有者への未払利息、 発行時額面超過額償却額 ⁽¹⁾	(45)	(102)	(45)	(102)
転換準備金を除くその他の包括利益	560	853	560	853
配当準備金 ⁽²⁾	(1,319)	(1,059)	(1,319)	(1,059)
N-1に係る支払配当金	-	-	-	-
期末 ROE 資本	57,687	56,715	57,687	56,715
平均 ROE 資本	57,368	56,572	56,896	56,326
のれん平均 ⁽³⁾	(4,160)	(4,279)	(4,079)	(3,991)
平均無形資産	(2,906)	(3,390)	(2,933)	(3,128)
平均 ROTE 資本	50,302	48,903	49,884	49,207
グループ当期純利益	1,367	295	3,160	2,063
超劣後債および永久劣後債の保有者への支払利息および 未払利息、発行時額面超過額償却額	(165)	(165)	(521)	(544)
のれんの減損の取消し	-	338	-	338
調整後グループ当期純利益	1,202	468	2,639	1,858
ROTE	9.6%	3.8%	7.1%	5.0%

¹ 税引後利息

² 支払配当金は、非現金項目を修正再表示し、超劣後債および永久劣後債に係る利息控除後の配当性向50%に基づいて算出

³ 非支配持分に由来するのれんを除く。

RONE の算出：主力事業部門への平均配分資本（単位：百万ユーロ）

(単位：百万ユーロ)	2024 年 第 3 四半期	2023 年 第 3 四半期	増減	2024 年 1-9 月期	2023 年 1-9 月期	増減
フランス国内リテールバンキング・ プライベートバンキング・保険部門	15,695	15,564	+0.8%	15,602	15,457	+0.9%
グローバルバンキング・ インベスターソリューションズ部門	15,490	15,324	+1.1%	15,149	15,485	-2.2%
モビリティ・国際リテールバンキング・ 金融サービス部門	10,433	10,136	+2.9%	10,425	9,505	+9.7%
主力事業部門	41,618	41,024	+1.4%	41,177	40,448	+1.8%
コーポレートセンター	15,750	15,548	+1.3%	15,719	15,878	-1.0%
当グループ	57,368	56,572	+1.4%	56,896	56,326	+1.0%

6-純資産および有形純資産

純資産および有形純資産は、当グループの2024年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の45ページの財務情報の基準となる事項の記載にて定義されている。これらを算出するために使用した項目は以下の通りである。

期末（単位：百万ユーロ）	2024年 1-9月期	2024年 上半期	2023年
株主資本、グループ持分	67,446	66,829	65,975
超劣後債および永久劣後債	(8,955)	(9,747)	(9,095)
超劣後債および永久劣後債の利息、発行時額面超過額償却額 ⁽¹⁾	(45)	(19)	(21)
トレーディングポートフォリオ上で当グループが保有する当行株式の帳簿価額	97	96	36
純資産額	58,543	57,159	56,895
のれん ⁽²⁾	(4,178)	(4,143)	(4,008)
無形資産	(2,895)	(2,917)	(2,954)
有形純資産額	51,471	50,099	49,933
NAPS（1株当たり純資産額）の算出に用いられる株数（単位：千株）⁽³⁾	796,498	787,442	796,244
1株当たり純資産額（単位：ユーロ）	73.5	72.6	71.5
1株当たり有形純資産額（単位：ユーロ）	64.6	63.6	62.7

7-1 株当たり利益（EPS）の算出

ソシエテ・ジェネラルが発表する1株当たり利益は、国際会計基準（IAS）第33号に定義されている規定に従って算出されている（ソシエテ・ジェネラルの2024年度「Universal Registration Document（年次報告書）」の44ページを参照のこと。）。1株当たり利益を算出する際に行ったグループ当期純利益の修正は、ROEおよびROTEを算出する際に行った修正再表示に対応するためである。

1株当たり利益の算出については、下表に詳述されている。

平均株数（単位：千株）	2024年 1-9月期	2024年 上半期	2023年
発行済株式	802,314	802,980	818,008
控除			
従業員に与えられたストックオプションおよび無償株式を補填するために 配分された株式	4,548	4,791	6,802
その他の当行株式および自己株式	2,930	3,907	11,891
EPS算出に用いられた株数⁽⁴⁾	794,836	794,282	799,315
グループ当期純利益（単位：百万ユーロ）	3,160	1,793	2,493
超劣後債および永久劣後債に係る利息（単位：百万ユーロ）	(521)	(356)	(759)
調整後グループ当期純利益（単位：百万ユーロ）	2,638	1,437	1,735
EPS（単位：ユーロ）	3.32	1.81	2.17

¹ 税引後利息

² 非支配持分に由来するのれんを除く。

³ 考慮された株数は期末時点で発行済みの普通株式（ただし、自己株式および自社株買いを行った株式を除くが、トレーディング目的で当グループが保有する株式を含む。）の数である。（単位：千株）

⁴ 考慮された株数は期間中に発行済みの普通株式（ただし、自己株式および自社株買いを行った株式を除くが、トレーディング目的で当グループが保有する株式を含む。）の平均数である。

8- ソシエテ・ジェネラル・グループの普通株式等 Tier1 資本は、適用ある CRR2/CRD5 規制に従い算出されている。全面適用の自己資本比率は、特に明記しない限り、当事業年度における配当控除後の当期利益に対する試算ベースの値である。特に明記しない限り、言及されている段階的適用の比率には、当事業年度における利益は含まれていない。レバレッジ比率も、自己資本比率と同じ根拠に基づき、段階的適用の比率を含み、適用ある CRR2/CRD5 規制に従い計算されている。

9- 調達貸借対照表、預貸率

調達貸借対照表は、当グループの財務諸表に基づき、以下の2つのステップで作成する。

- 第一ステップ：貸借対照表の経済分析をしやすいするため、財務諸表項目をより大きな項目に組み替える。主な組替えの内容は以下の通りである。
 - 保険：保険に関連する会計項目を資産と負債の両方で1つにグループ化する。
 - 顧客貸出金：顧客に対する貸出金残高（引当金および評価損控除後、純リース債権残高および損益を通じて公正価値で測定される取引を含む。）を含み、IFRS 第9号が規定する条件に従い貸出金および債権に組み替えた金融資産（これらの残高は各々の元の項目に組み替えられている。）を除く。
 - ホールセール資金調達：銀行間取引負債および発行債券を含む。資金調達取引は、残存期間（1年を超えるか1年未満であるか）に基づいて中長期資金調達および短期資金調達に振り分けられている。フランス国内リテールバンキングのネットワークが発行した証券の持分（中長期資金調達に計上）、およびカウンターパーティと実施した一定の取引のうち顧客預金と同等のもの（従来は短期資金調達に計上）は顧客預金に組み替えられる。
 - 市場調達に相当する一部の取引は、顧客預金から控除され、短期資金調達に組み入れられる。
- 第二ステップ：保険子会社の貢献分を除外し、デリバティブ、現先取引、有価証券貸借、未払金および「中央銀行預り金」を差し引く。

当グループの**預貸率**は、調達貸借対照表に記載されている顧客貸出金を顧客預金で除して算出している。

注

- (1) 表および分析に含まれる数値の合計は、四捨五入の誤差により、公表されている数値とわずかに異なる場合がある。
- (2) 当四半期決算に関するすべての情報（特に、プレスリリース、ダウンロード可能なデータ、プレゼンテーションスライドおよび補足資料）は、ソシエテ・ジェネラルのホームページ（www.societegenerale.com）の「Investor」のセクションにおいて閲覧可能である。

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルは、欧州最大手の金融機関の一つで、12万6,000人を超える従業員を擁し、世界65ヶ国で約2,500万のお客さまに金融サービスを提供しています。約160年にわたり、法人、機関投資家および個人のお客さまに付加価値の高い多様なアドバイザリー・サービスと金融ソリューションを提供し、経済の発展を支えてきました。お客さまとの長きにわたる信頼関係、先進的な専門性、独創的なイノベーション、環境・社会・ガバナンス（ESG）における能力および優れた事業基盤はこれまで受け継がれてきたソシエテ・ジェネラルの企業文化の一部であり、こうした特性がすべてのステークホルダーにとって持続可能な価値を創造するという、当グループの最も重視する目標達成の下支えとなっています。

当グループは、相互に補完し合う3つの主力事業部門から構成されており、すべてのお客さまに環境・社会・ガバナンス（ESG）サービスを提供しています。

- **フランス国内リテールバンキング・プライベートバンキング・保険部門**：大手リテールバンクおよび保険事業、プレミアムなプライベートバンキング・サービスならびに大手デジタルバンクであるブルソバンクで構成されています。
- **グローバルバンキング・インベスターソリューションズ部門**：株式デリバティブ、ストラクチャードファイナンスおよび環境・社会・ガバナンス（ESG）においてグローバル市場における主導的地位にあり、お客さまのニーズに応じたソリューションを提供する最高水準のホールセールバンクです。
- **モビリティ・国際リテールバンキング・金融サービス部門**：安定した基盤をもつユニバーサルバンク（チェコ共和国、ルーマニア、アフリカ域内数ヶ国）および専門的な財務活動と持続可能なモビリティのグローバルプレイヤーである Ayvens（ALDーリースプランの新ブランド）で構成されています。

ソシエテ・ジェネラルは、お客さまとともに持続可能なより良い未来を構築することを使命とし、環境変動とサステナビリティ全般における主導的パートナーになることを目指しています。当グループは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、ブルームバーグ男女平等指数、リフィニティブ・ダイバーシティ&インクルージョン・インデックス、Euronext Vigeo（欧州およびユーロ圏）、ストックス・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックスおよび MSCI 低炭素リーダーズ指数（世界および欧州）の構成銘柄です。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com をご覧ください。